

学校だより 時を守り 場を清め 礼を正す

# けいせい

帯広市立啓西小学校

どんだん(活動する子)

わくわく(感動する子)

いきいき(表現する子)



令和6年4月30日発行

## 4月の学校の様子を写真で綴ってみました



4.9 登校した1年生とふれあう6年生。しっかりサポートしていました。



4.9 雨の中の下校となりました。下校指導の一コマ



4.10 1年生の交通安全教室の一コマ。交通指導員から「道路の横断の仕方(止まれ、見る、待つ)」を教わりました。



アフターコロナを迎え、異学年交流が活発化しています。その上で6年生の活躍が随所に光っています。過日の授業参観・懇談会には、ご多用の中、たくさんの方々に来校いただき、ありがとうございました。さて、今号では、子どもの様子を写真を交えてお伝えします。また、大型連休を有意義に過ごしてほしいとも願っています。(別紙でお配りした『大型連休を迎えるにあたって』をご覧ください)



左 4.12 食育指導専門員から食事のマナー等を学びました。(2年生)

右 4.15 初めての給食。おいしそうに食べていました(1年生)：メインはカラフルぶたどん



4.10 ロイロノートの使い方を学年で学習しました(4年生)



上段 4.22 授業参観の一コマ。左から6年生、4年生、2年生の様子を収めました。真剣に授業に臨んでいました。

下段 4.23 同じく授業参観の一コマ。左から5年生、3年生、1年生(体育：からだほぐし遊び)の様子を収めました。

主な相談窓口（北海道）① 小学生・小学部生用（令和6年4月） 別紙1

名称	所管等	電話番号	受付	概要
子ども相談支援センター （24時間子供SOSダイヤル） （メール相談）	北海道教育委員会 （文部科学省）	0120-3882-56 (0120-0-78310)	毎日24時間対応	いじめ、不登校、友人関係、親子関係、性的マイノリティ、性暴力の被害、家庭の事情で自分の時間がとれない、ヤングケアラーに関する事など、様々な悩みを相談できます。
児童相談所虐待対応ダイヤル「189」	北海道保健福祉部 （厚生労働省）	189 （いちばやく）	毎日24時間対応	虐待の疑いがあるなど、虐待に関する悩みを児童相談所に通告・相談できます。
親子のための相談LINE	北海道保健福祉部 （厚生労働省）		平日9:00～17:00	いじめ、不登校、ヤングケアラー、虐待など様々な家族・家庭の相談ができます。
北海道いのちの電話	社会福祉法人 北海道いのちの電話	011-231-4343	毎日24時間対応	様々な悩みを相談できます。
子どもの人権110番	法務省	0120-007-110	平日8:30～17:15	いじめ・体罰等について、法務局職員・人権保護委員に相談できます。
チャイルドラインはっかいどう	認定NPO法人 チャイルドライン支援センター	0120-99-7777	毎日16:00～21:00 (12/29～1/3除く)	18歳までの子どもが電話・チャットで様々な悩みについて相談できます。

主な相談窓口（北海道）② 小学生・小学部生用

名称	所管等	電話番号	受付	概要
少年サポートセンター 「少年相談110番」	北海道警察	0120-677-110	平日8:45～17:30	いじめ・犯罪等の被害に悩む子どもやその家族が警察に相談できます。
こころの電話相談	北海道立精神保健福祉センター	0570-064-555	平日9:00～21:00 土日祝10:00～16:00	様々な悩みを相談できます。
北海道こころの健康SNS相談	北海道保健福祉部		平日、土曜日 18:00～22:00 日曜日 18:00～翌朝6:00	日常生活や学校生活に関する悩みを相談できます。
性暴力被害者支援センター 北海道 （SACRACH さくらこ）	北海道、札幌市	050-3786-0799 または #8891 sacrach20191101@leaf.ocn.ne.jp	平日10:00～20:00 （土日祝祭日、12/29～1/3除く）	子どもや大人が性暴力の被害について相談できます。
北海道ヤングケアラー相談サポートセンター	北海道保健福祉部	0120-516-086（電話） hokkaido.young.carer2022@gmail.com 080-9612-1247（SMS専用） facebook.com/hokkaido.young.support（Facebook） @youngcarer2022（X・旧:Twitter）	開設時間 平日 8:45～17:30	ヤングケアラーに関する相談ができます。

子ども相談支援センターでは平成27年10月の開設以来、これまで多くの児童生徒や保護者からの相談を受け付けてきました。各学校でも、日頃から児童生徒に寄り添い、悩みを抱える児童生徒の心のケアに努めているところですが、ゴールデンウィーク等の連休や長期休業明けに不登校となる児童生徒や自殺者が増える傾向があることから、改めて児童生徒が相談できる窓口を周知し、児童生徒の心のケアに万全を期していきたいと考えています。

各学校において、「主な相談窓口（北海道）」や「子ども相談支援センター」をはじめとする相談窓口について周知いたしますのでよろしくお願い致します。

- 子ども相談支援センター相談窓口のご案内
- ・ 電話相談 0120-3882-56
- ・ メール相談 sodan-center@hokkaido-c.ed.jp



地域の方々に感謝いたします  
縄跳びをいただきました



帯広市交通安全連絡協議会啓西支部の皆様より、縄跳び（60セット）の寄贈がありました（写真上）。  
いただいた縄跳びは、子どもたちの体力づくりに活用させていただきます。誠にありがとうございました。

放課後（休日）の過ごし方を考えよう！

放課後も子ども達が、学校のグラウンドでサッカーをしたり、鉄棒をしたりと日々、元気な姿が見られるようになりました。

今週からは5月に入ります。自転車に乗るなど行動範囲がひろがります。交通安全に気をつけ、交通ルールを守るなどして安全に安心した遊びを共有してほしいと願うばかりです。こうした中、全国的に見ても、小学生が事故に遭ったり、けがをしたり、亡くなったりするニュースを見聞きすることがあります。

ご家庭でも『交通ルールを守り、正しく自転車に乗る。』『止まる、見る、待つ』などの確認をあらためてお子さんとしてください。命に関わります。学校でも、継続して指導しています。ご理解とご協力をお願いします。